



陸中山田駅跡地



稲川勝憲議員

復興事業

JR山田線の復旧は

楽観はできない

質問 JR山田線宮古・釜石間の工事着工、開通の見通しは。

佐藤町長 今までも機会あるごとに各界、各層に要望してきたが、JR東日本では、「公共交通を担う使命は十分に認識しており、前向きに検討するが明言できる段階にはない。いましばらくの時間を要する。」との回答であり、工事着工、開通の見通しは現段階では立っていないのが実情であり、引き続き復旧を求める。

質問 2月19日、JR山田線沿岸首長会議が盛岡で開催されたようだが、宮古市では宮古駅周辺に市役所の庁舎を将来建設するようだ。

町づくりの中心になるのは鉄道が通って駅があつて、その周辺に商店街が形成されることである。町づくりの決意を示せ。

佐藤町長 鉄道の再開で一

番必要なことは利用促進である。沿岸首長もこの点で一致している。常に利用できるような促進に向けての町づくりをJR東日本にアピールしていく。

質問 町づくりの一環として、駅舎、トイレの建設に復興交付金の支出はできないか。

沼崎復興推進課長 鉄路復旧が明言されればJRと協議していく。例えば図書館の分室などと駅舎との併設は、町づくり交付金の対象となる。

建設行政

私道整備補助基準緩和は

現状での運用を

質問 私道等の整備事業の補助基準を緩和してはどうか。

佐藤町長 昭和56年度から私道等の整備を図るため補助金を交付している。

補助率については、平成18年度から段階的に引き下げられており、20年度以降は50%補助であるが、採択要件は整備延長20m以上、幅員1mに緩和している。現在、2力所から相談を受けている。

環境行政

不法投棄防止の指導は

広報などで周知

質問 ゴミの不法投棄防止は意識の啓発が重要であるが、どのように指導していくのか。

佐藤町長 震災後、不法投棄は減少していたが、最近になり通報が寄せられ懸念される場所である。

不法投棄は懲役や罰金が科せられる犯罪であるとの周知や再認識が重要である。機会を捉え、広報や環境教育などで啓発活動を推

進していく。

その他の質問

- ◆ 商工業について
- ◆ 観光について
- ◆ 雇用について
- ◆ 住環境について
- ◆ 健康、福祉について
- ◆ 町民生活の安全と安心の確保について
- ◆ いじめ対策について
- ◆ 体罰の禁止について